

第5回福岡県なでしこ親善剣道大会

大会実施要領

(新型コロナウイルス感染症対策)

大会要項（参加者募集）における確認事項

○次のことが当てはまる人は大会に参加できない。

※大会当日、会場入口前で検温を実施

◎体温が37.5度以上ある人や37度以上あり且つ風邪症状がある人

◎同居家族や身近な知人に感染者または感染の疑いのある方がいる人

◎過去14日以内に渡航歴のある人や感染流行地域を訪れた人

◎基礎疾患のある人

※基礎疾患のある人…糖尿病、心不全、慢性閉塞性肺疾患、透析を受けている人、抗がん剤などを用いている人

※基礎疾患のある人が理由あって参加する場合は、主治医の承認を得るものとする。

○大会に申し込む人は、自己の責任において当日の大会に参加するものとする。

○過去に新型コロナウイルス感染歴のある方は、大会参加について医師と相談して決める。

大会当日の注意事項

- 着替えは原則自宅で済ませておく。
やむなく大会会場内の更衣室を利用する場合は、密を避けて交代で使用する。
- 体温測定と次の体調確認を行う。
咽頭痛、咳、臭覚異常、味覚異常、強い倦怠感、その他の症状（頭痛・腹痛・下痢・嘔吐等）
- 大会に参加する時は、マスクを必ず着用すること。（外出時から着用）
マスクは複数枚持参することが望ましい。
- 靴を入れるビニール袋を持参して、各自で靴の管理をすること。
会場以外を裸足で移動しない。使用後ビニール袋を必ず家まで持ち帰ること。
会場内で捨てない。
- 参加する全ての方は、係員の誘導に従って行動すること。
- 施設内に入場する人は、全員必ずマスクを着用し、私語を慎む。
- 入場する時も含めて、常にフィジカルディスタンス（他の人との距離）を約 2m（最低でも 1m）確保する。試合会場へ入場する選手の人数制限等を検討する。
- 試合前および試合後に、手洗い・うがい・手指のアルコール消毒を行う。
- 自分の剣道具および竹刀・面手拭などを他の人に使わせない。
また他の人の物を使わない。（忘れ物をしないこと。）
- 食事の空箱・ペットボトル・持参した物など、ごみは必ず持ち帰ること。
会場内で捨てないこと。
- 役員・審判員・係員はマスクを着用する。（審判員は審判時のみ外す）

試合について

※道具の貸し借りは禁止

【選手】

- 面マスク、シールド着用（マスクは口と鼻を確実に覆うものとし、持病等により鼻を出す必要がある場合は申請をすること。シールドは口元を覆うものとし、形状の指定はしない）
- 目印は、必ず自分の物を使用。会場内外では常にマスクを着用する。
- 選手は、声援をしない。応援は拍手のみとする。
- お互いに鏝ぜり合いにならないように試合を行う。もし鏝ぜり合いになったらすぐに分かれるか、引き技を出し、掛け声は出さないこと。（引き技の発声は可）

- 試合が終了したら、すみやかに会場（施設）から退出する。
- 大会中に発熱したり体調が悪くなった時は棄権し、すぐに帰宅して経過観察する。

【審判員】

- 自分用の審判旗を持参する。大会本部の審判旗を使う場合は、使用前および使用後に必ずアルコール消毒をすること。
- 試合者が鏝ぜり合いを解消しない場合、すぐに「分かれ」をかける。
- 試合終了後に当該試合の反省を行う場合は、1m以上の間隔を空ける。
- 審判員の試合場への入退場は、1 m以上の間隔を空けて行い、副審は試合開始線の外側を通り定位置まで進む。
- 合議は、1m以上の間隔を開けて行う。

※来場する全ての方で、大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、福岡県剣道連盟事務局に至急連絡をし、また、全日本剣道連盟ホームページの「剣道における新型コロナウイルス感染症報告フォーム」より入力して、報告をしてください。